

2024年3月期 第2四半期 決算説明会

2023年12月7日

テイカ株式会社

東京証券取引所プライム市場 証券コード：4027

本資料における業績予想および将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご了承おください。

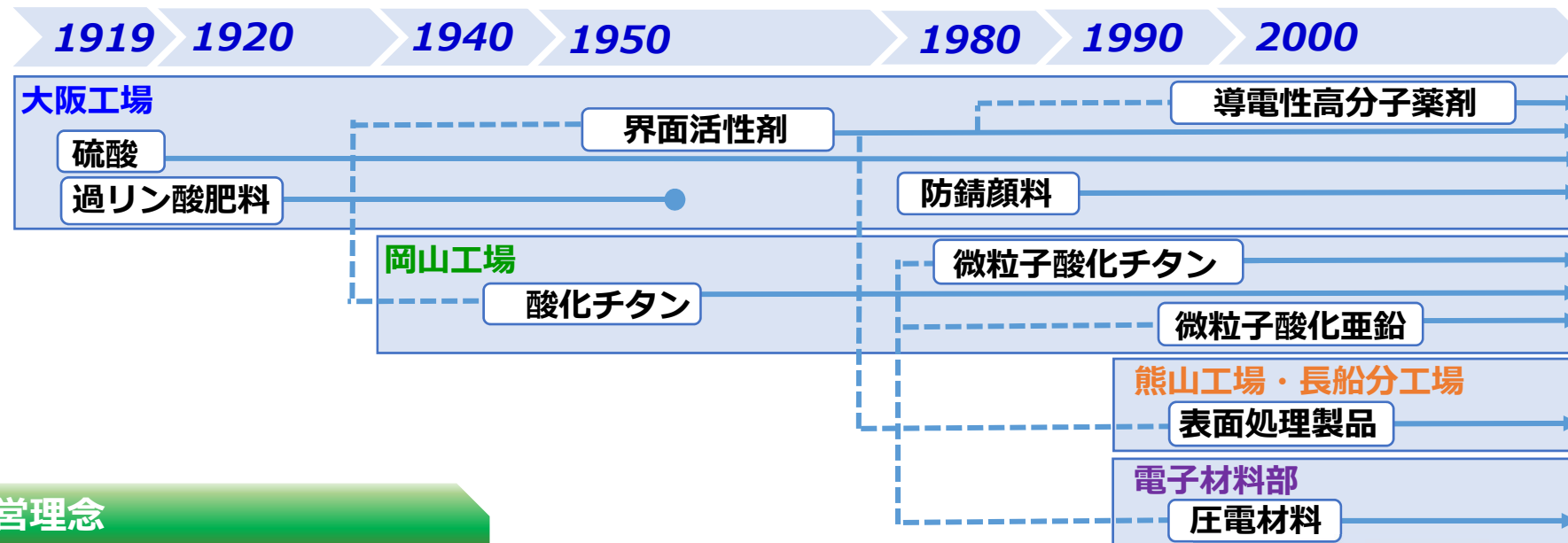


目次

1. 経営ビジョン
2. 2024年3月期 第2四半期決算概要
3. 2024年3月期 通期業績予想
4. 株主還元
5. 付属資料

1. 経営ビジョン

事業ビジョン



経営理念

テイカグループは、化学の力で感動の素を創り、
世界に夢と笑顔を届けます。

コーポレートスローガン

まじめに感動素材

Challenge100
(2010-2019年度)

- ①基盤事業の安定化
- ②成長事業の強化
- ③次世代事業の育成

- ①収益性を重視した活動
- ②汎用品から機能製品への
ポートフォリオシフト
- ③持続的価値と高収益を創出

MOVING-10
(2020-2029年度)

高収益体制の骨太の
「強いテイカ」に成長

長期経営ビジョン MOVING-10 (2020-2029年度)

収益性を重視した活動を行い、汎用品から機能品へポートフォリオシフトを加速することで、更なる業容拡大と収益基盤の強化に努めます。

- ▶ 基本方針 「まじめに感動素材」のもと、お客様と真摯に向き合い、妥協なく試行錯誤を行う中から、より良いソリューションを実現します。

- ▶ **MOVING-10**の
目指す経営指標

2029年度 目標経営指標	
営業利益率	15%以上
R O E	12%以上

- ▶ ESGの3つを最重要課題として積極的に取り組み、事業活動を通してSDGsで提唱されている課題解決に貢献します。
- ▶ 研究開発方針 事業環境変化を捉える技術開発、事業基盤強化を図ります。また、技術要素の進化をスピード感を持って進めます。

中期経営計画 MOVING-10 STAGE1 (2020-2023年度)

「変革による拡大」と「新素材の創出」に重点的に取り組むことで、長期経営ビジョン達成に向けた業容拡大と収益基盤の強化を図ります。

▶ 活動のポイント

- ① 機能性化学品および電子材料事業の更なる拡大（ポートフォリオシフト加速）
- ② 環境エネルギー分野の育成、上市（次世代担う2本目の柱）
- ③ 新たな素材の創出促進（キーワード「ニッチ市場」×「伸長分野」）
- ④ 業務効率化の推進（生産性向上、自動化）
- ⑤ 人財育成の推進（ダイバーシティ、働き方改革）
- ⑥ S D G s 経営推進による企業価値向上

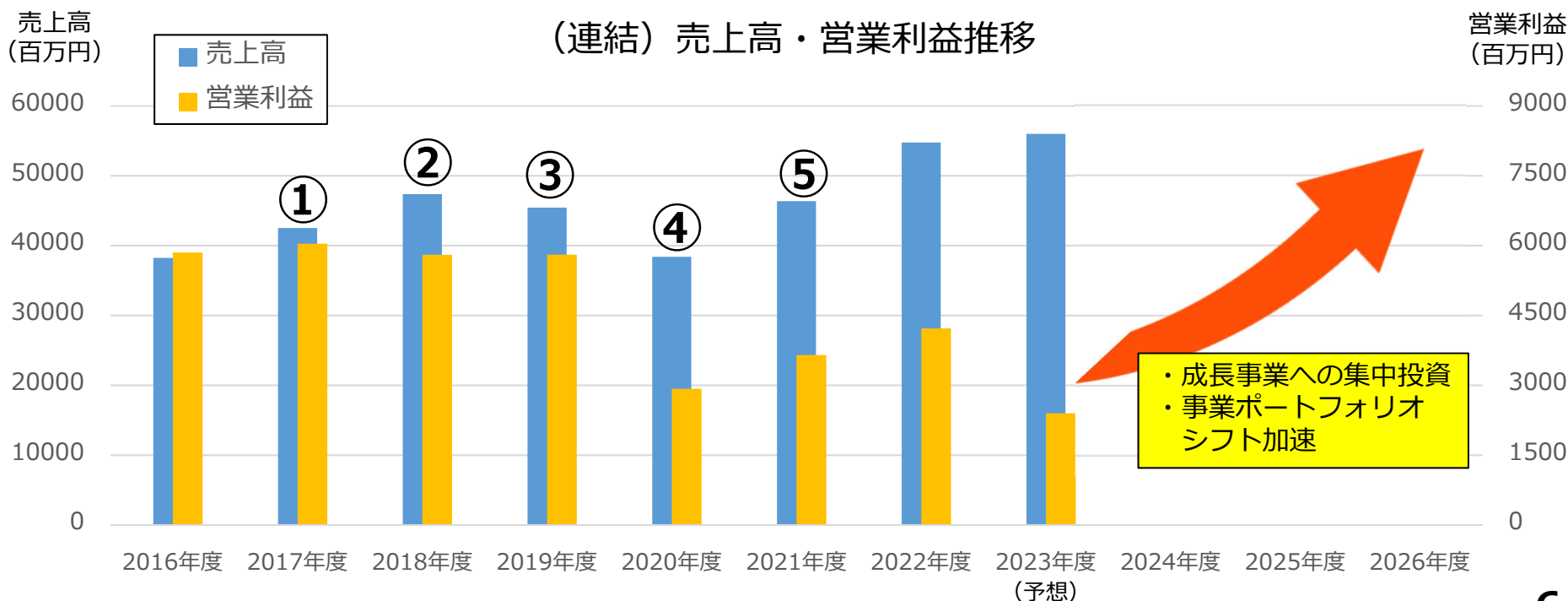
▶ 目標経営指標

目標経営指標	最終年度 2024年3月期
売上高	5 5 0 億円
営業利益	7 5 億円
営業利益率	1 4 %
R O E	9 %
E B I T D A	1 1 0 億円

圧電材料事業および機能性微粒子事業の拡大

近年の事業投資

	投資案件	投資額
①2018年1月	TRSテクノロジー（米国）の買収	30億円
②2019年3月	熊山第三工場（微粒子製品生産設備）新設	20億円
③2019年8月	工場建設用地（岡山県赤磐市）取得	4億円
④2020年8月	岡山工場（微粒子製品 生産設備）増設	40億円
⑤2022年1月	大阪工場 圧電単結晶材料 量産工場の新設	15億円

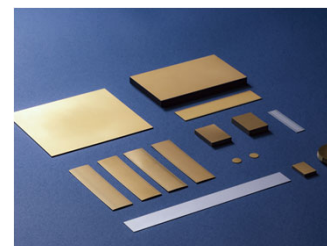


圧電材料事業の拡大

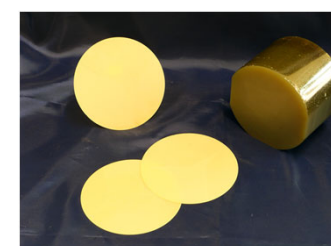
圧電材料

電圧を加えることで伸縮を繰り返し、その振動を利用して超音波を発生させることができる材料です。エコー検査に使われる医療用超音波診断機は、この機能が利用されています。

グローバルニッチトップ企業100選に選定
圧電セラミックス材料は、2020年に経済産業省の「グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。



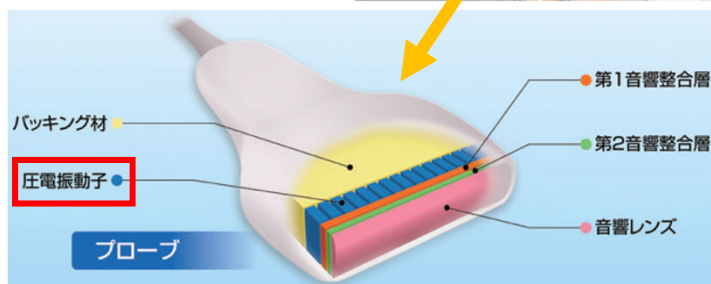
圧電セラミックス材料



圧電単結晶材料

用途

医療用超音波診断機



2018年1月
米国TRS社を子会社化



2022年1月
圧電単結晶材料 量産工場新設



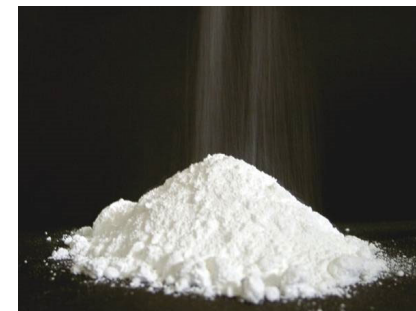
機能性材料事業の拡大

機能性微粒子製品

機能性微粒子製品には、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛および表面処理製品があり、日焼けの原因となる紫外線を遮蔽する材料として、日焼け止め化粧品やファンデーションなどに使われています。

グローバルニッチトップ企業100選に選定

微粒子酸化チタン製品は、2014年に経済産業省の「グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。

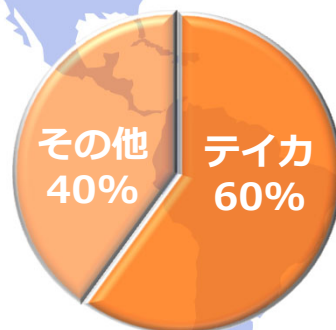


機能性微粒子製品

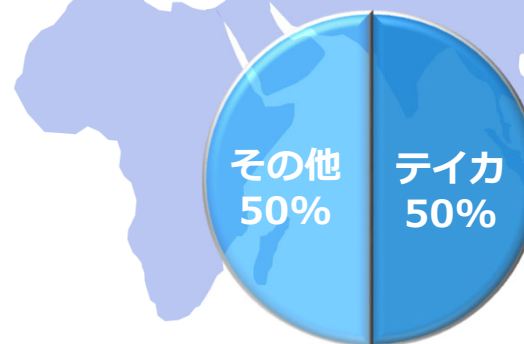
微粒子製品の世界市場シェア※

※日焼け止め化粧品用途、当社調べ

微粒子酸化チタン
(UV-B遮蔽剤)



微粒子酸化亜鉛
(UV-A遮蔽剤)



機能性材料事業の拡大

機能性微粒子製品製造設備の新設

機能性微粒子製品は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い需要は大きく落ち込んだものの、現在は国内外ともに需要が回復しています。当社は、機能性微粒子製品の販売量が今後さらに増加するものと考え、製造設備を新設することといたしました。

また、今回新設する製造設備は、国際的な製造品質管理基準である「原薬GMP」対応の設備であり、引き続きユーザーへ高品質な製品を安定して供給できるよう努めます。

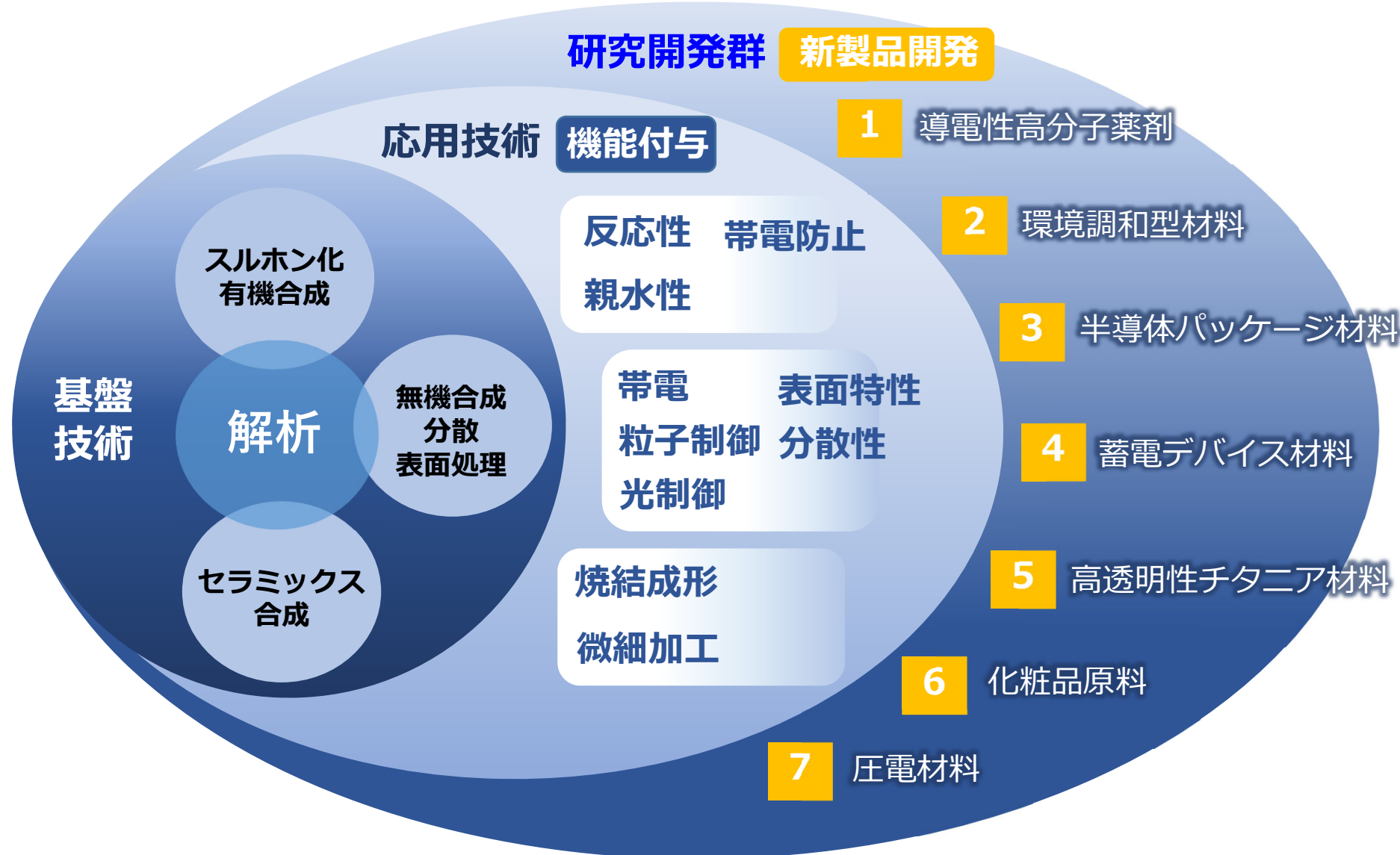
機能性微粒子製品製造設備の概要

- (1) 生產品目
機能性微粒子製品
(微粒子酸化チタン・微粒子酸化亜鉛・その他)
- (2) 生産能力
1,000トン/年
- (3) 新設設備所在地
岡山県赤磐市小瀬木50番地22
- (4) 完成時期
2025年6月末予定
- (5) 設備投資額
約50億円の予定
- (6) 設備新設による売上高増の見通し
2030年度で約50億円の売り上げ増を目指す。



写真：近接する熊山工場

環境エネルギー分野の拡大



当社の将来の第二の柱となるべく、当社独自の保有技術の展開を図り、より高機能な製品の開発、育成、上市を目指します。

SDGs 経営推進による企業価値向上

CO₂排出量削減目標

2030年目標

CO₂排出量**50%削減**
(対 2013年度比※)

※ 2013年CO₂排出量：約18万トン

2050年目標

カーボンニュートラル

LNG設備導入（岡山工場）

現在、岡山工場の発電設備は、石炭と重油を用いていますが、石炭を燃料とした発電設備は二酸化炭素（CO₂）の排出量が多いため、石炭から液化天然ガス（LNG）に燃料転換することで、発生するCO₂を削減することが可能となります。

LNG設備の概要

- (1) 主な設備
 - LNGサテライト設備 100kL×2基
 - LNGガスタービン設備 発電：1.7MW
蒸気：10t/h
 - LNG貫流ボイラー設備 3t/h×5缶
- (2) 設備場所（当社岡山工場内）
岡山県岡山市東区西幸西1072番地
- (3) 完成時期
2024年12月末
- (4) 設備投資額
約18.5億円
- (5) CO₂削減量
年間 約2万トン



写真：LNG設備を導入する岡山工場

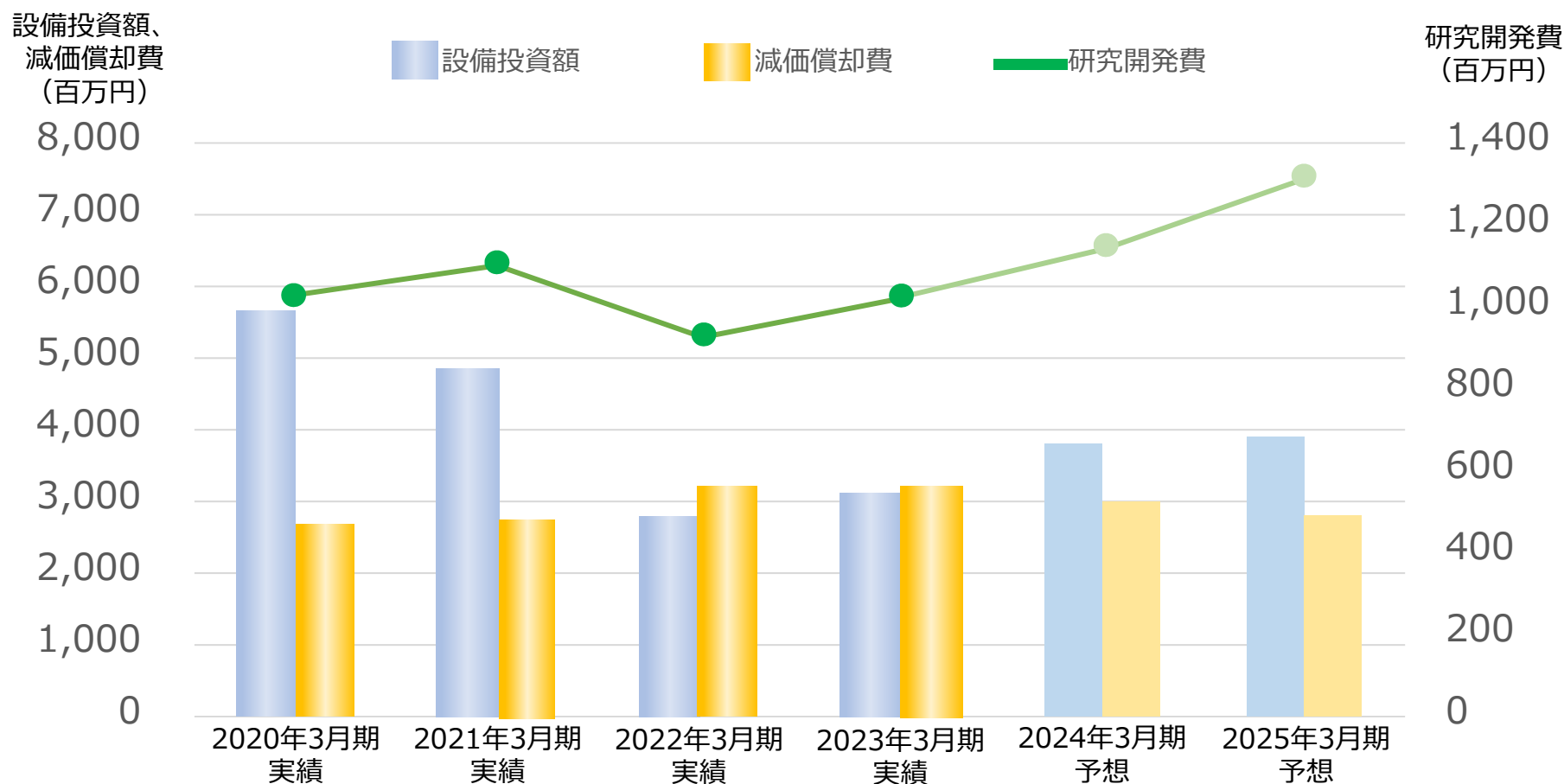


LNGサテライトイメージ図

設備投資・減価償却費・研究開発費

【設備投資額、減価償却費、研究開発費について】

コロナ禍に伴い投資を抑制しておりましたが、今後、環境投資や研究開発力の強化に向けて、さらなる設備投資を行っていく予定であります。



2. 2024年3月期 第2四半期決算概要

決算概要

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へ移行されたことに伴い、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化等に起因する原燃料価格の高止まり、中国経済の下振れ懸念や世界的な金融引き締めなど、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

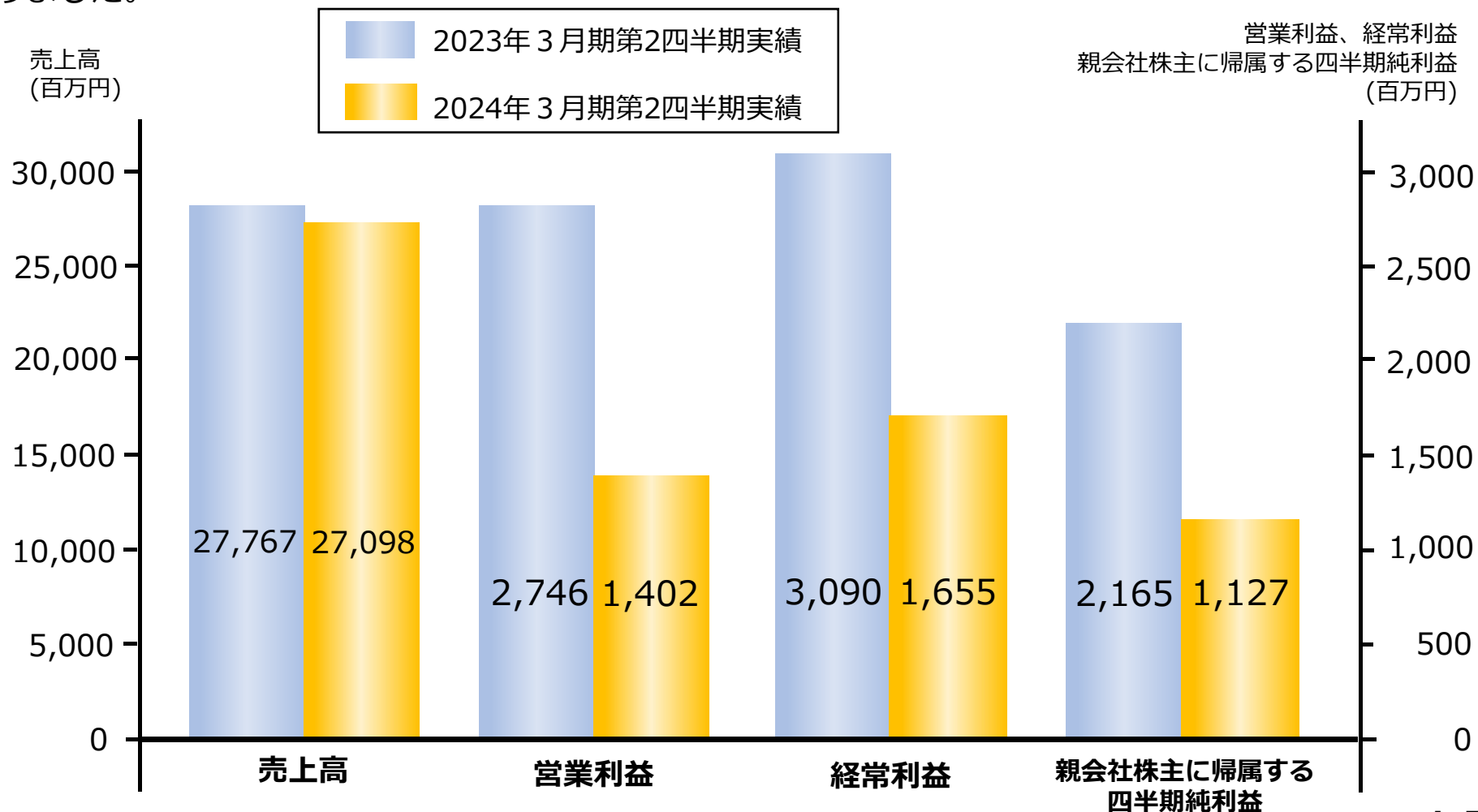
国内化粧品向け機能性微粒子製品の販売は回復したものの、原燃料価格の高止まりによるコスト上昇等により、売上高および利益ともに減少する結果となりました。

2024年3月期第2四半期 連結経営成績

	2023年3月期 第2四半期実績	2024年3月期 第2四半期実績	前年同期比 (%)
売上高（百万円）	27,767	27,098	-2.4
営業利益（百万円）	2,746	1,402	-48.9
経常利益（百万円）	3,090	1,655	-46.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益（百万円）	2,165	1,127	-47.9

決算概要

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は270億9千8百万円（前年同期比2.4%減）となりました。営業利益は14億2百万円（前年同期比48.9%減）、経常利益は16億5千5百万円（前年同期比46.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億2千7百万円（前年同期比47.9%減）となりました。



事業別売上高・営業利益

(単位：百万円)	2023年3月期 第2四半期実績		2024年3月期 第2四半期実績		前年同期比 (%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
機能性材料事業	13,414	1,474	13,905	412	+ 3.7	- 72.0
電子材料・化成品事業	13,649	1,114	12,580	869	- 7.8	- 22.0
小 計	27,063	2,588	26,486	1,281	- 2.1	- 44.1
その他	704	157	611	121	- 13.2	- 23.3
合 計	27,767	2,746	27,098	1,402	- 2.4	- 48.9

事業内容

【機能性材料事業】

主に酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品を製造、販売。

【電子材料・化成品事業】

主に圧電材料、導電性高分子薬剤、界面活性剤、硫酸、無公害防錆顔料を製造、販売。

【その他】

倉庫業、エンジニアリングおよびセグメント間取引消去額を含んでいます。

3. 2024年3月期通期 業績予想

2024年3月期 業績予想

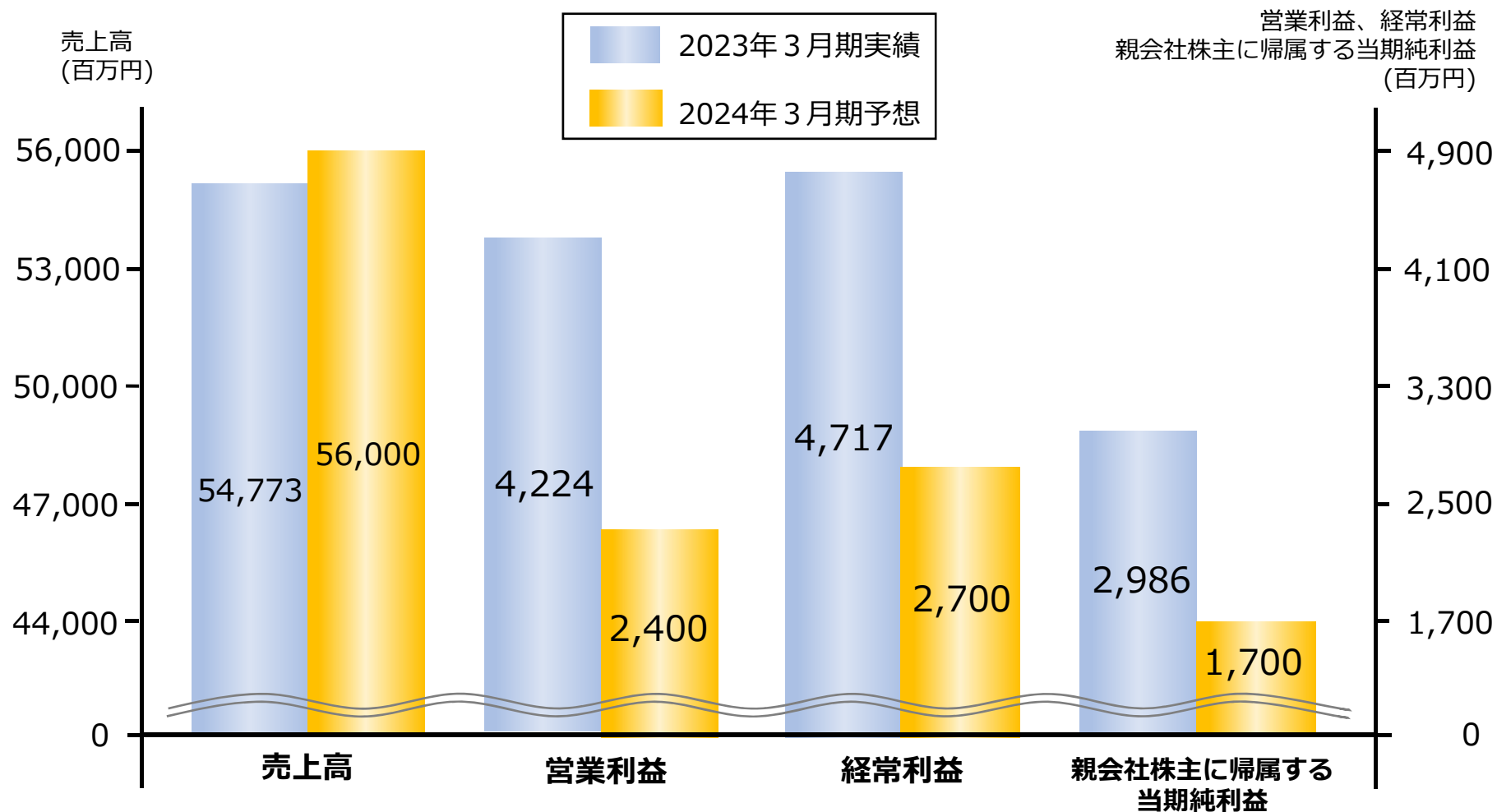
通期の連結業績予想につきましては、原燃料価格の高止まりや海外需要の低迷に加えて、地政学リスクの高まりに伴うサプライチェーンに対する影響への懸念および第2四半期累計期間の連結業績予想を踏まえ、2023年11月1日に業績予想を修正いたしました。

2024年3月期通期連結業績予想数値（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 62,000	百万円 4,800	百万円 5,000	百万円 3,400	円 銭 146.71
修正予想(B)	56,000	2,400	2,700	1,700	73.35
増減額(B-A)	-6,000	-2,400	-2,300	-1,700	
増減率	-9.7	-50.0	-46.0	-50.0	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	54,773	4,224	4,717	2,986	128.86

2024年3月期 業績予想

2024年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は560億円（前期比2.2%増）、営業利益は24億円（前期比43.2%減）、経常利益は27億円（前期比42.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は17億円（前期比43.1%減）となります。



2024年3月期 業績予想(事業別売上高、営業利益、EBITDA)

【機能性材料事業】

機能性材料事業は増収となるも、減益の計画であります。

【電子材料・化成品事業】

電子材料・化成品事業は減収、減益の計画であります。

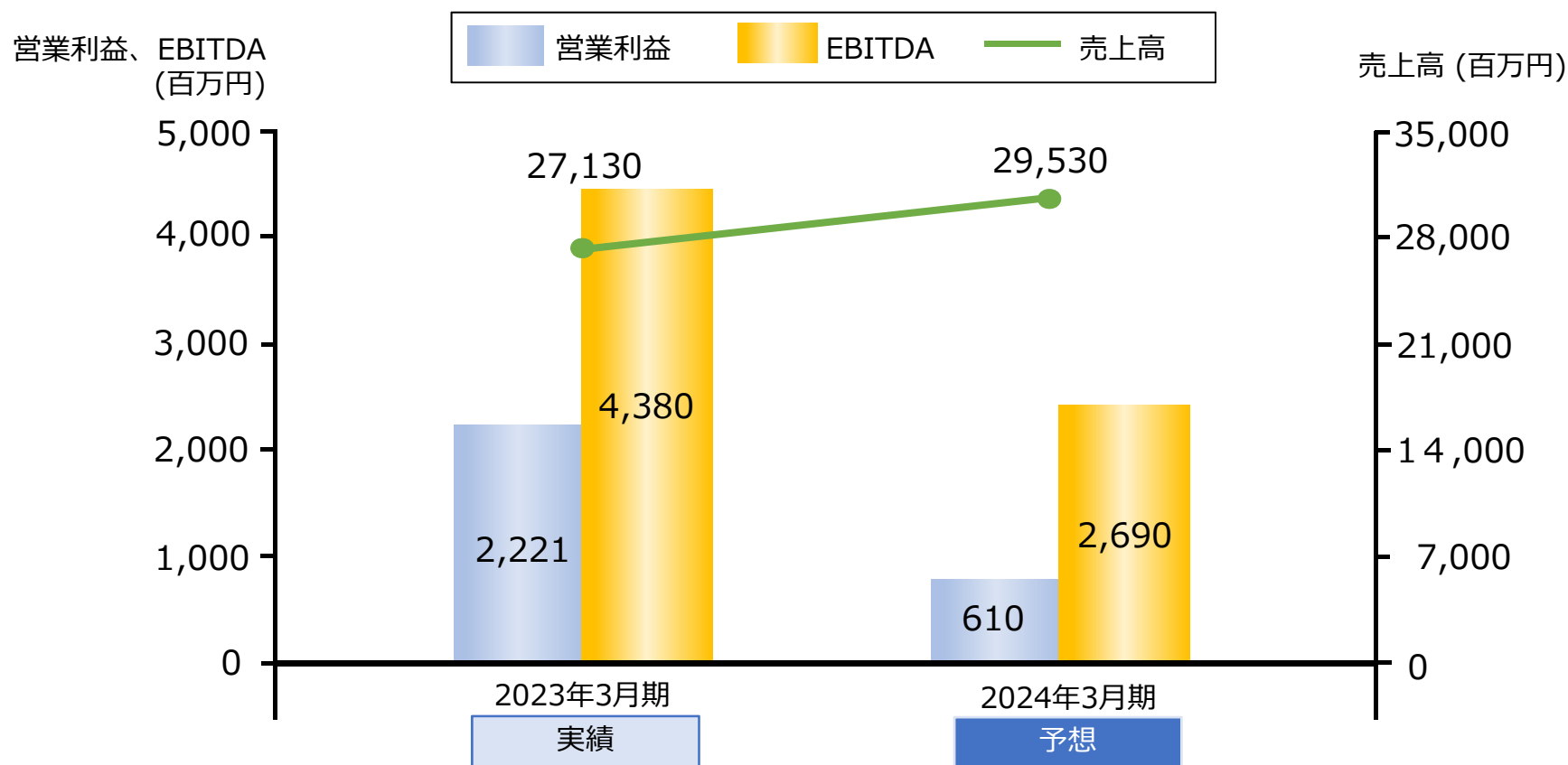
(単位：百万円)	2023年3月期実績			2024年3月期予想		
	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA
機能性材料事業	27,130	2,221	4,380	29,530	610	2,690
電子材料・化成品事業	26,286	1,686	2,839	25,290	1,560	2,710
小 計	53,417	3,908	7,219	54,820	2,170	5,400
その他	1,355	316	423	1,180	230	300
合 計	54,773	4,224	7,643	56,000	2,400	5,700

機能性材料事業 業績計画

【事業環境の見通し】

汎用用途の酸化チタンに関しましては、原燃料価格の高止まりによるコスト上昇に加え、世界的な景気減速に伴う海外需要の低迷を受け、今後も収益面で厳しい状況になると予想しております。

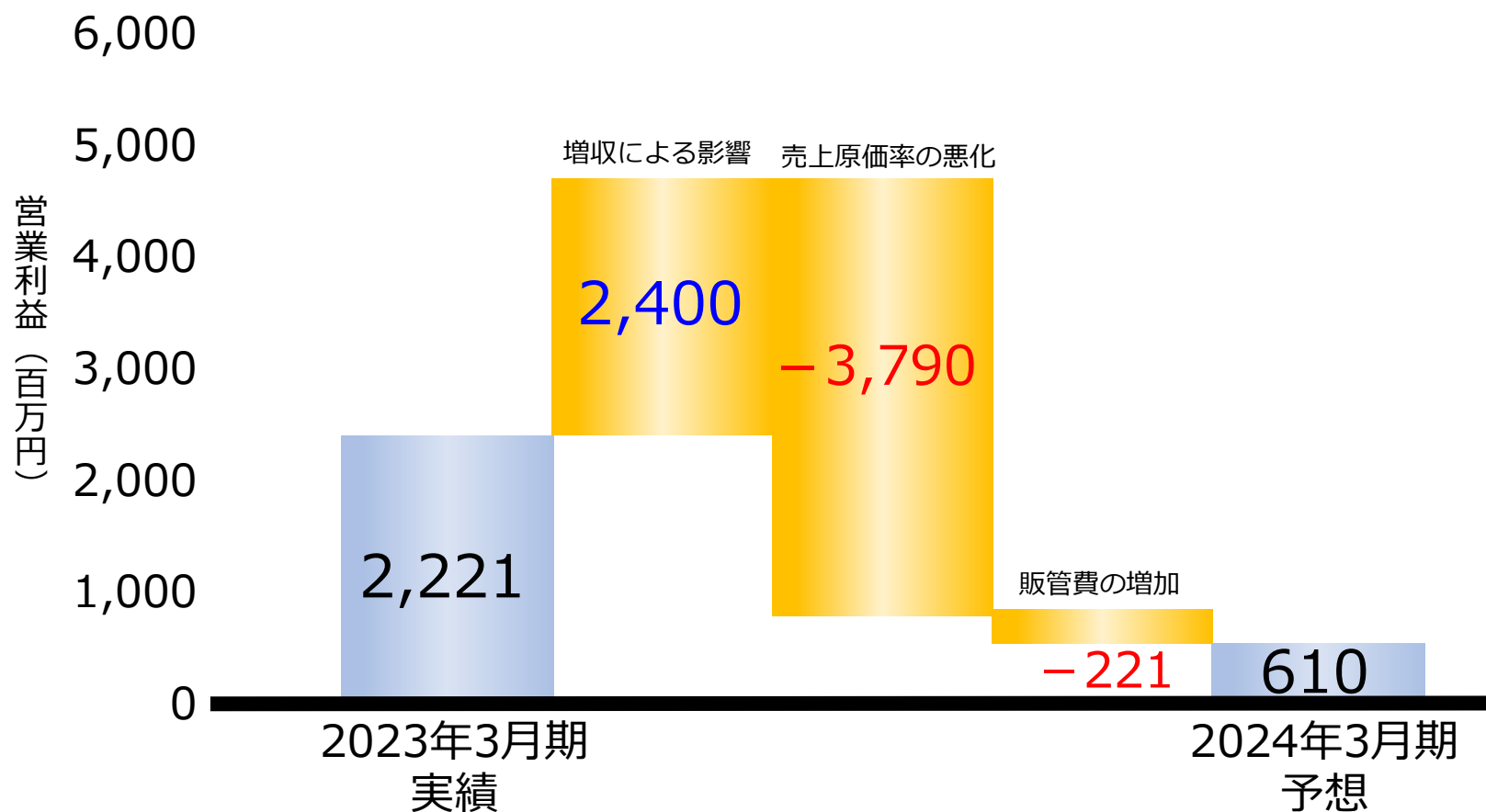
機能性用途の微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛および表面処理製品に関しましては、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響で主用途であるUVカット剤の需要が激減しておりましたが、経済活動の正常化は確実に進んでおり、ノンケミカル処方の普及拡大等、今後の需要拡大が予想されており、市況を注視しつつ販売維持・拡大に努めます。



機能性材料事業 営業利益増減要因

【営業利益】

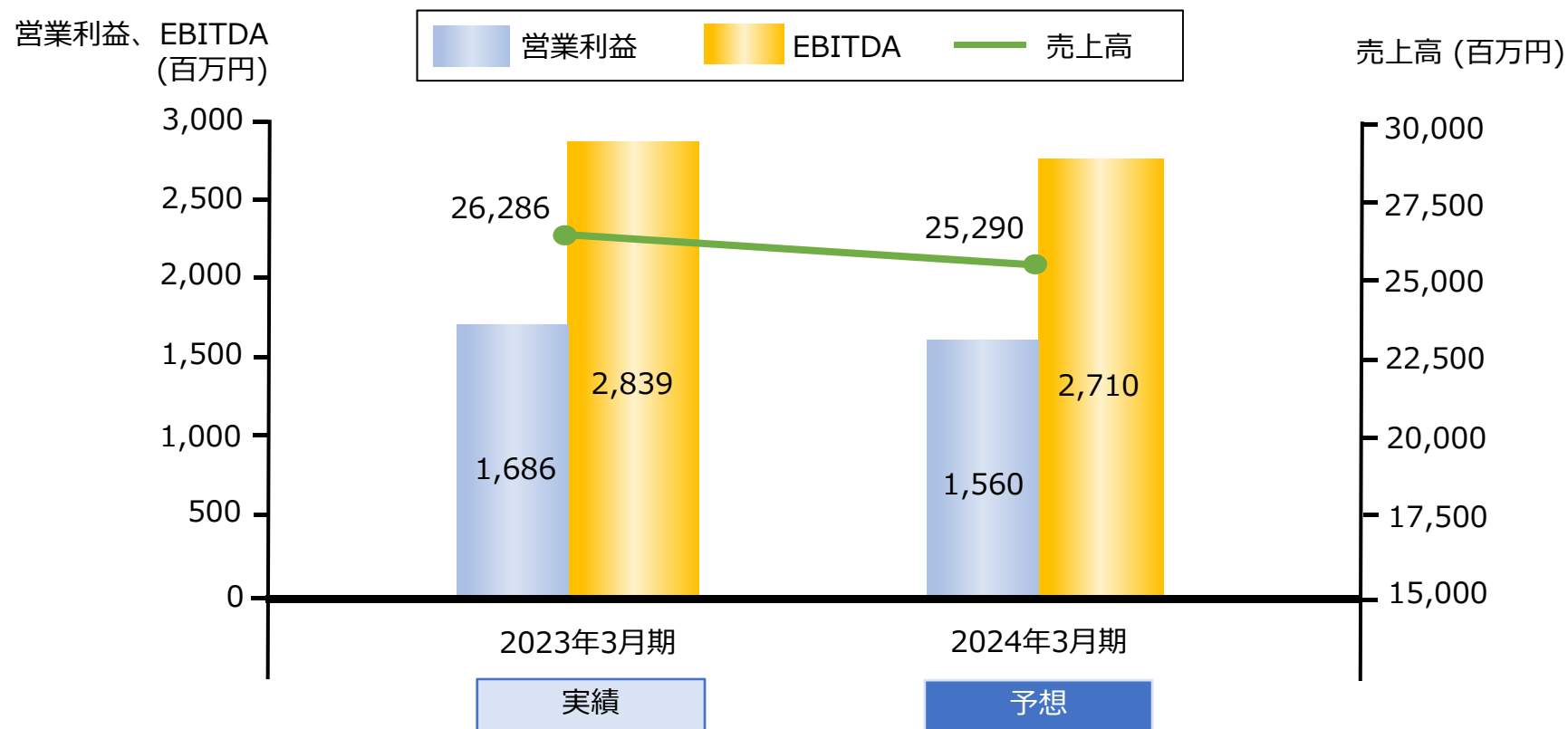
原燃料価格の高騰に伴う価格改定による増収はあるものの、売上原価率の悪化の影響が大きく、利益を押し下げる見通しであります。



電子材料・化成品事業 業績計画

【事業環境の見通し】

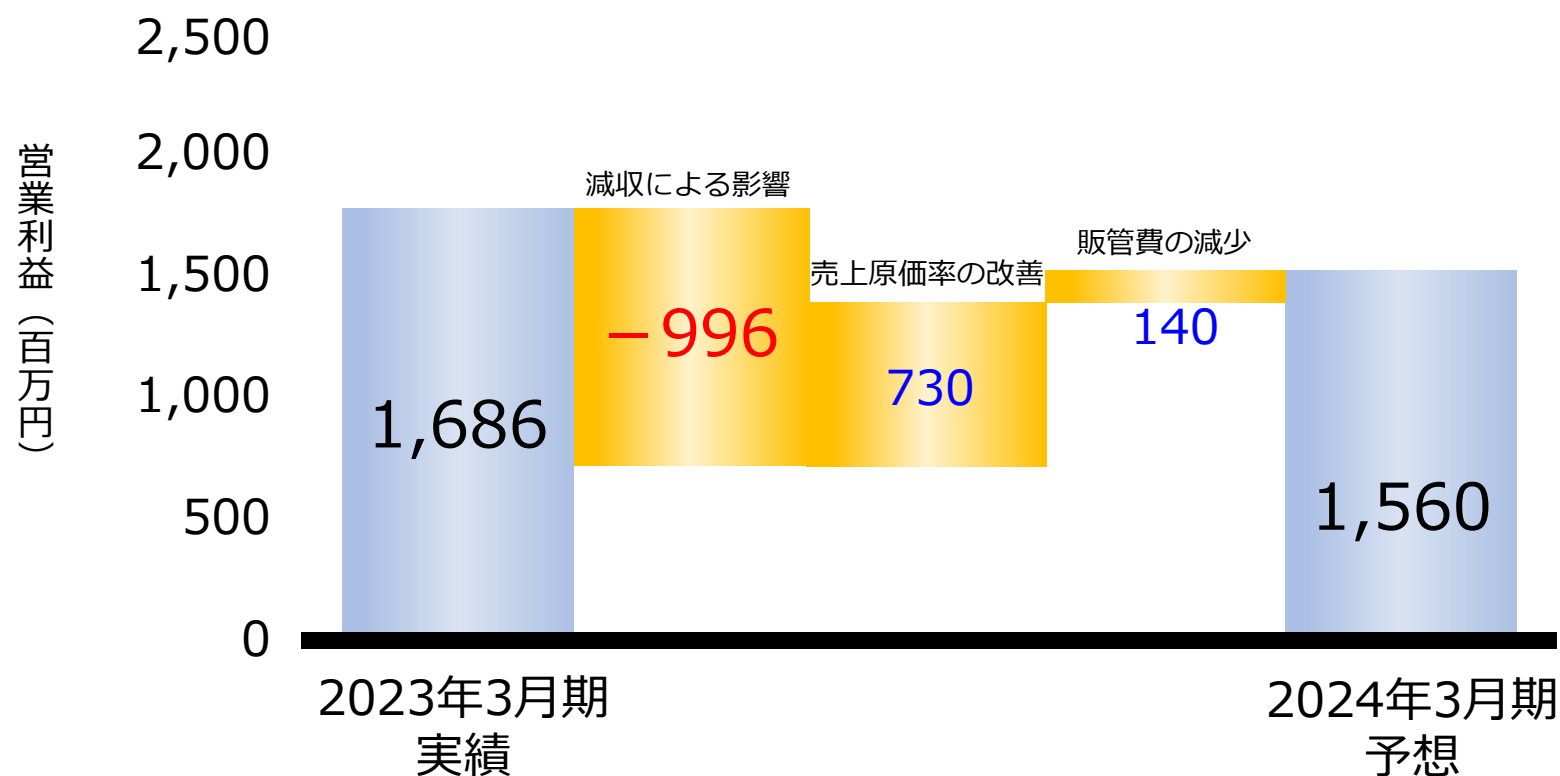
電子材料に関しましては、世界的な半導体不足の影響から国内外で需要拡大の足踏み状態が見受けられますが、今後も市場は順調に拡大するものと予想しており、特に圧電材料については、2022年1月末に完成しました「圧電単結晶材料量産工場」の稼働に伴い、日本と米国の両製造拠点を確保したため、世界各国への安定的な製品供給により、更なる拡販に努めます。また、化成品事業に関しましては、海外連結子会社の販売は堅調に推移しており、国内は一時的に日用品の洗剤用途向けの販売が低調に推移しておりますが、底堅い需要は見込まれるため、引き続き安定供給に努めます。



電子材料・化成品事業 営業利益増減要因

【営業利益】

原燃料価格は下落傾向も、販売の減少が利益を押し下げる見通しであります。



経営指標

● 経営指標

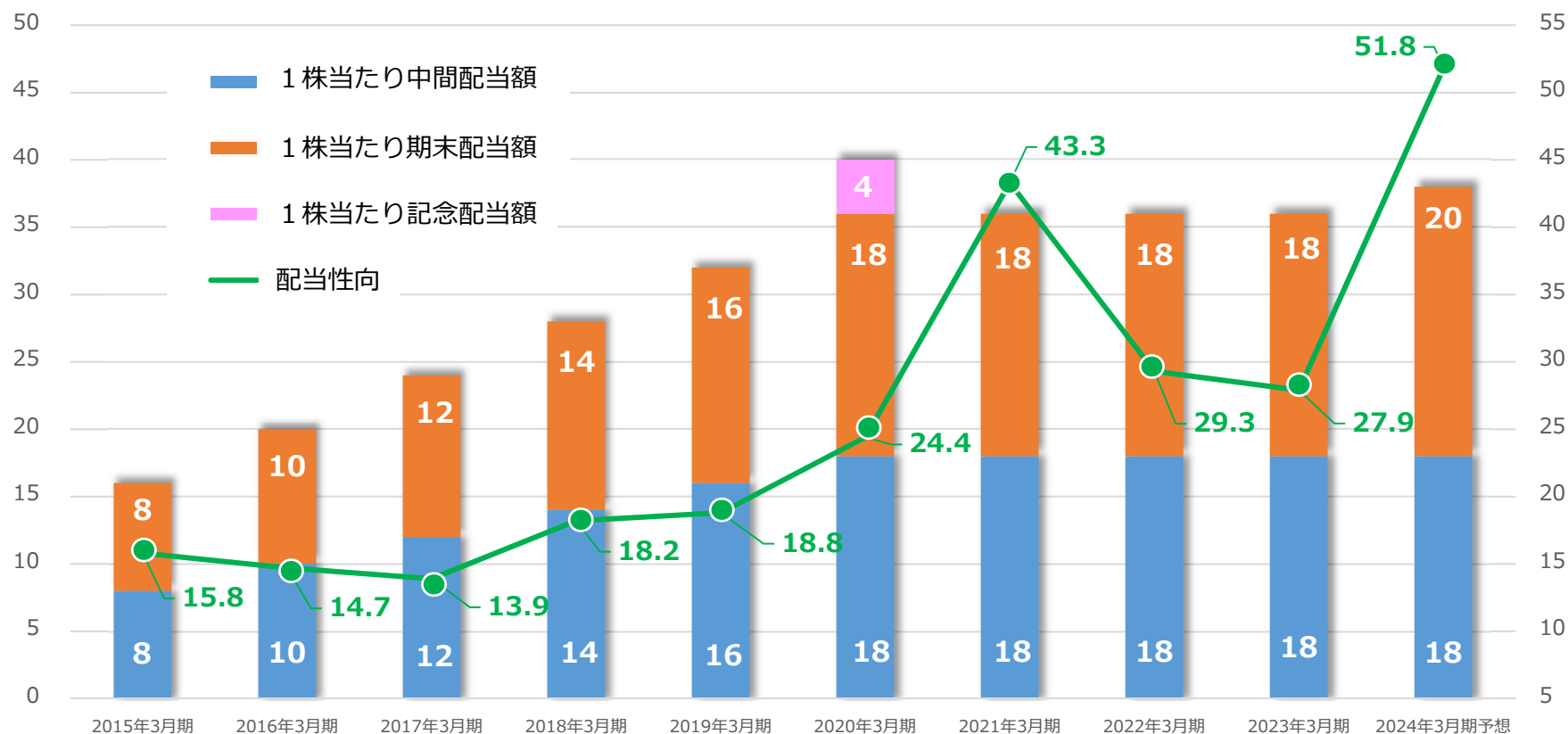
	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想
1株当たり当期純利益（円）	122.79	128.86	73.35
自己資本利益率（ROE）	5.6	5.7	3.2
総資本経常利益率（ROA）	5.9	6.4	3.5
売上高営業利益率	7.9	7.7	4.3
自己資本比率	70.6	70.3	67.7

4. 株主還元

株主還元（配当金）

配当額（円）

配当性向（％）



※2024年3月期中間配当額は
1株当たり18円で決定いたしました。

株 価	1, 3 5 1 円	(2023年12月4日終値)
配当利回り	2. 8 1 %	* 2024年3月期配当予想
P E R	1 8. 4 2 倍	* 2024年3月期業績予想
P B R	0. 5 6 倍	* 2023年3月期実績

5. 付属資料

会社概要

- 社名 テイカ株式会社 TAYCA CORPORATION
- 創立年月日 1 9 1 9 年（大正 8 年） 1 2 月 2 2 日
- 資本金 資本金 9 8 億円
- 年商 5 4 7 億円（連結 2023年3月期）
- 従業員数 8 2 4 名 （連結 2023年9月30日現在）
- 上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場（証券コード：4027）
- 事業内容 各種化学工業薬品の製造、販売
酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、
表面処理製品、圧電材料、導電性高分子薬剤、
界面活性剤、硫酸、無公害防錆顔料 等

事業紹介

テイカの事業内容

BUSINESS

家庭内

パウダー化粧品

赤外線遮蔽酸化チタン
皮脂吸着パウダー
セリサイト

シャンプー・洗剤

界面活性剤

外壁・屋根

酸化チタン
赤外線遮蔽酸化チタン
光触媒用酸化チタン

暮らし

自動車の塗料

酸化チタン
無公害防錆顔料

舗装道路

赤外線遮蔽
酸化チタン

日焼け止め化粧品

微粒子酸化チタン
微粒子酸化亜鉛
表面処理製品

オフィス内

カラーコピー

カラーコピーのトナーの
表面処理製品

パソコン

パソコンの駆動に
欠かせないコンデンサの
導電性高分子薬剤

いつも
テイカが
身近に
います

テイカ製品は、
どこかで必ず
役立っています。

テイカの製品は、ご家庭の日用品
から医療機器まで、さまざまな
分野で関わっています。

HOSPITAL

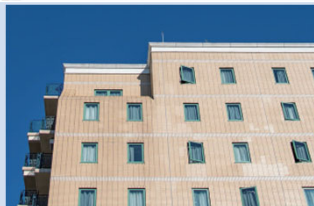
医療機器

医療用超音波診断機の
プローブの
圧電材料

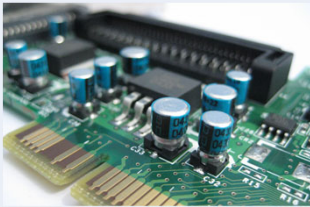
畑・花壇の肥料

硫酸

事業紹介（機能性材料事業）

	製品名	用途	概要
機能性材料事業	酸化チタン		酸化チタンは優れた白色顔料として、塗料、インキ、プラスチック、化学繊維、製紙など白いものはもちろん、色のついたもののほとんどに使用されています。 また、白色度、着色力、安全性、化学的安定性など優れた性質をもち、社会のあらゆる分野で役立っています。
	微粒子酸化チタン		微粒子酸化チタンは、一般の白色顔料用酸化チタンに比べてはるかに小さい10～50nmの粒子径を有する超微粒子であるため、例えば、可視光線部における光透過性と紫外部での光遮蔽性が大きい等の特徴ある性質を備えており、しみの原因となる紫外線UVBの遮蔽性に優れています。
	微粒子酸化亜鉛		微粒子酸化亜鉛は、微粒子酸化チタン同様、優れた紫外線遮蔽能力を持つ機能性粉体です。微粒子酸化チタンと比較して、可視部における透明性が高く、しわ、たるみの原因となる紫外線UVAの遮蔽性に優れています。
	表面処理製品		微粒子酸化チタンや微粒子酸化亜鉛等の無機粉体が持つ優れた特徴を最終製品で発揮できるよう、各種有機化合物で表面処理した粉体製品です。表面処理を行うことにより、粉体表面が親水性や親油性に改質され、耐光性や分散性などの特長を付与できます。化粧品原料、プリンターのトナー用外添剤をはじめ幅広い分野で使用されています。
	光触媒用酸化チタン		光触媒用酸化チタンは、紫外線や水・酸素などのクリーンなエネルギーによって発現する酸化チタンの酸化力を利用し、有害な有機物を分解・除去します。これら光触媒効果を活用した、汚れ防止効果を付与した外壁や脱臭効果を付与したインテリア等が実用化されています。

事業紹介（電子材料・化成品事業）

	製品名	用途	概要
電子材料・化成品事業	圧電材料		圧電材料は、電圧を加えることで、伸縮を繰り返し振動する現象を利用し超音波を発生させることができます。エコー検査に使われる医療用超音波診断機はこの機能を利用しています。発生した超音波から画像を映し出すことで、エックス線などは使わず、体の中を安全に調べることができますので妊婦検診や心臓・腹部等の診断で多く使われています。
	導電性高分子薬剤		白川英樹博士のノーベル賞受賞で知名度が広まった導電性高分子。添加物を加える「ドーピング」で、プラスチックのような電気が流れない絶縁体を電気が流れる「導電体」に変えます。当社はいち早くこの性質に着目し、当社固有技術と融合させ、様々な要求特性に対応した導電性高分子薬剤を開発。パソコンの駆動に欠かせないコンデンサに使用されています。
	界面活性剤		界面活性剤は、水と油の両方になじみやすい性質をもち、洗浄、乳化、分散、可溶化などの働きを利用して、洗剤、シャンプーなど生活用品から工業分野にまで広く使用されています。
	無公害防錆顔料		当社は、リン酸塩の研究を長年続けた結果、世界に先駆けてリン酸塩Kシリーズ、無公害型防錆顔料の量産技術確立し工業化したしました。地球環境にやさしい技術として、防錆剤、硬化剤、吸着剤など多用途に利用され高い評価を得ています。
	硫酸		硫酸は医薬品、化学肥料といった化学品産業から金属、鉄鋼といった重工業まであらゆる分野での基礎原料となっています。当社では、創立当初より硫酸の製造を開始。この硫酸を基礎原料に酸化チタン、界面活性剤の製造に着手してきました。